

劇場や美術館でうまれる魅力 地域につなぐ橋渡し



劇場フロントスタッフ勉強会

舞台公演やコンサートなど、劇場で行われる催事でも、サポーターが役割を担っています。なかでも、お客さまをお迎えする「フロントスタッフ」は、主軸のひとつです。

様々な人が一堂に会し、ひとつの世界をつくりあげる劇場空間。舞台のつくり手と観客をつなぎ、公演を成立させるフロントスタッフの仕事は、一見すると気づかない、細やかな心配りに溢れています。

専門家による講座を経て、自分たちでマニュアルをつくり、実践しているサポーター同士での勉強会も実施。基本に立ち戻る機会でもあり、新たに参加する人にとっては、実践に入る前の確認の場にもなっています。



美術館「対話による作品鑑賞」勉強会

美術館の業務に関わるサポーターは、展覧会での受付・監視などを担うほか、「対話による作品鑑賞」のファシリテーター（進行役）の活動を行っています。

これは、鑑賞者同士が作品から受ける印象などを自由に話し合いながら、鑑賞を深めていく方法。展覧会の関連企画や、学校の鑑賞授業などで、進行役として関わっています。体験講座を入口に、新しく加わるサポーターもあり、定期的に勉強会も開いています。

自分たちでつくった対話鑑賞のハンドブックを読み合わせたり、展示室で実際にファシリテーションを体験する研修も。最後に全員で振り返り、日々の活動や興味の糧にしています。

茅野市民館 指定管理者
株式会社地域文化創造



〒391-0002

長野県茅野市塚原一丁目1番1号

TEL 0266-82-8222

FAX 0266-82-8223

休館日：火曜日（祝日の場合、翌平日）

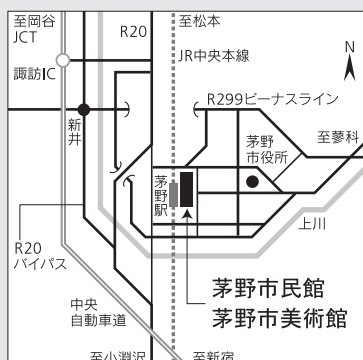
年末年始（12/29～1/3）

開館時間 9:00～20:00

※施設利用のある場合は22:00まで

図書室 9:00～19:00

<http://www.chinoshiminkan.jp/>



茅野市美術館 第1期収蔵作品展

生誕110年 矢崎博信

シュルレアリスムがみせる夢

開催中～7/7(日)

9:00-19:00 常設展示室

鑑賞無料 火曜休館

関連企画

学芸員によるギャラリートーク

どなたでも
ご参加ください

展示作家・矢崎博信（1914-1944）の歩んだ生涯や、折々に変化していく作品の数々について、展示作品の鑑賞とともに学芸員がお話します。

6/29(土)

11:00- 常設展示室

無料



ミニコーナー「超!現実」シュルレアリスム

今年2024年は、芸術運動「シュルレアリスム」が提唱されてからちょうど100年といえます。1930年代には、日本のシュルレアリスム運動も勃興し、その先駆的な動きのなかには、茅野市出身の洋画家・矢崎博信もいました。

図書室では、茅野市美術館が収蔵する地域ゆかりの作家のなかから、図録などの関連本を紹介しています。そのなかで、「シュルレアリスム」に関連する書籍も並んでいます。

図書室

